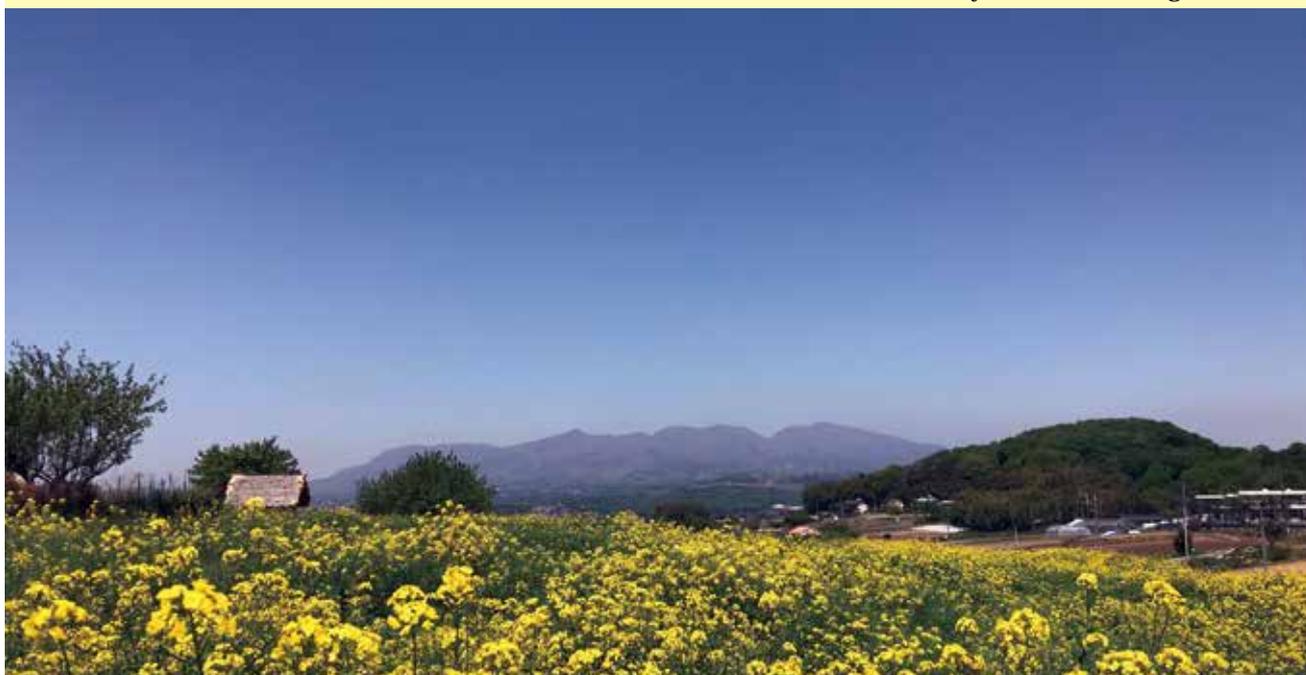


# 山岳ぐんま

群馬県山岳連盟

発行人：吉田直人 / 編集人：根井康雄

〒371-0031 前橋市下小出町 2-46-1 (小池寛喜方) tel 027-235-9247 E-mail: tomoyoshikoike3810@gmail.com



鹿田山フットパス (みどり市) から赤城山

## top News

# 新年度を迎え



群馬県山岳連盟 会長 吉田直人

**昨**年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で過去に経験したことが無い日々を経験したことを思います。誰もが抱いた一年も経てばマスクの要らない元の日常に戻る期待と我慢も虚しく、このウイルスは流行の波を繰り返し、より感染力が強いと言われる変異株も出現してきました。コロナ禍での活動は時間、人数、場所、挙げたらキリがない程の制限の中、

一人ひとりが細心の注意を払い、やれる範囲で出来ることをやったのが2020年度でした。県民登山もそのひとつで、こういう時だからこそ岳連会員が細心の注意をはらい集うことに大変意義があることだと、この秋一番の青空の下、大会本部で待機しながらつくづく感じました。

年明けには永く親しまれてきた山岳ぐんまを編集

委員のお陰でリニューアル、カラーで見やすくなりデジタル化もされました。ホームページも間もなくリニューアルされますので乞うご期待というところでしょうか。

それから大変残念な事故が一件発生いたしました。昨年11月、境町山の会の会員が、北アルプスで遭難し現在も行方不明となっております。単独で北鎌尾根に入り（高瀬ダムから）、伊藤新道を下山する計画でした。一日も早く探し出し家に帰してあげたいと思います。雪解けを見ながら搜索を再開するとのこと。岳連会員皆様の温かいご支援、ご協力をお願い致します。

さて、令和3年度の定期総会も昨年に続き書面総会となってしまいました。

結果は

理事、評議員 77人

提出数 58人

過半数以上の書面決議書の提出がありましたので書面による総会は成立しました。

- (1) 第1号議案 (2) 第2号議案 賛成57、反対1
- (3) 第3号議案 (4) 第4号議案 賛成58、反対0

すべての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。

これを受けて新年度コロナ禍の厳しい環境ではありますが各委員会の長を中心に群馬県やJMSCAからの警戒



赤城地蔵岳から北の雪山を遠望

度、社会活動ガイドラインに基づき徹底した感染防止対策を実施したうえで適切に事業を進めてもらいたいと思います。

クライミング関係では11月21日(日)群馬岳連主管で関東小中学生選抜スポーツクライミング選手権大会がALSOKぐんまで開催されます。この時期になればワクチン接種もかな

り進んでいることと思います。大会成功に向け進めてまいりますので有観客開催の際にはぜひ足をお運び下さい。

また、八木原顧問、小泉参与のご尽力で、紆余曲折ありましたが前橋市がヤマト市民体育館前橋内にボルダリング壁を3基設置し来春のオープンに向け準備中です。前橋市としてはボルダリング人口の裾野を広げ将来的にはボルダリングを市の重点スポーツに育てる考えもあるようです。岳連としても前橋市に協力するとともに積極的に関わり2029年(令和11年)群馬国体を見据えジュニア養成に弾みをつけばと考えます。前橋山岳会が前橋市スポーツ協会加盟ということもあり岳連の窓口としてお願いすることになりますが競技委員、他の委員会も協力して取り組みスポーツクライミング文化を広めたいと思います。

本年度の上州武尊山スカイビュートレイルは早々中止を決定、山の日イベントも縮小。全体的に昨年と似たような活動にはなろうかと思いますが一年間よろしくお祈りします。

## 令和3年度定時総会 書面開催で事業報告など全3議案を承認

令和3年度群馬県山岳連盟定時総会は5月に開催を予定していたが、コロナ禍で2年続きの書面開催・郵送による書面議決となった。

6月10日までに書面での議決権行使を締め切り、第1号議案「令和2年度事業報告」、第2号議案「2年度収支決算報告ならびに基金調書」、第3号議案「役員一部改選」の3議案と監査報告が賛成多数で承認された。

役員一部改選では、日本山岳・クライミング協会正会員の変更(八木原罔明前会長から吉田直人現会長へ)、大橋義雄氏(境町山の会)の参与会員入会が承認された。

また、一般社団法人化については、書面開催により十分な説明ができないため、コロナ感染状況が落ち着いた後、あらためて臨時総会を開き、4年4月1日の法人化を目指すことが示された。

## コロナ禍での活動について（2021年度新年度を迎えて）

個人会員委員会委員長 根岸 仁

**2010**年より活動を開始した個人会員委員会は、活動開始から11年を迎えました。昨年度はコロナ禍の感染拡大防止に伴い活動を自粛し、山の勉強会（座学）を2回、実技勉強会を7回と満足いく活動には至りませんでした。新型コロナウイルスが収束することなく今年度を迎えました。会員数の大幅な減も懸念していましたが、4月1日の継続会員及び新規会員が合計55名と大きく落ち込むことなくスタートすることができました。会員の方々へ感謝いたします。



4月 実技登山 歩行技術指導

個人会員委員会では昨年度から「新型コロナウイルス感染防止のための新しい登山スタイル」に取り組んでいます。登山時は「健康状態申告書」による体温・健康管理の徹底、マスク等の登山装備、行動中の感染対策と熱中症リスクの両面を考慮した登山スタイル。広い駐車場確保によるマイカー乗り合わせリスクの考慮など、これまでの登山と異なり常に感染予防を意識した登山スタイルを意識し会員へ提供しています。

今年度も引き続き群馬県の「社会経済活動再開に向けたガイドライン(改訂版)」に基づき活動の判断をしていきます。スタッフ一同コロナ禍の早期収束を願い、会員の方々には生涯にわたって、安心安全に登山を楽しんでいただけるよう、サポートしていきたいと考えます。

	山の勉強会（座学）	実技登山
4月	夏山装備	歩行技術（榛名山）
5月	ナビゲーション	ナビゲーション（赤城山）
6月	コンパスワーク	コンパスワーク（小野子山）
7月	夏山の登山計画	登山計画/自然観察（尾瀬）
9月	山の天気	登山の体づくり（谷川岳）
10月	ロープワーク	ロープワーク技術（岩櫃山）
11月	ファーストエイド	ファーストエイド（裏妙義）
12月	山の運動生理学	コンパスワーク（吾妻山）
1月	リスクマネジメント	冬山入門（籠ノ登山）
2月	雪崩の知識	スノーシュー（一ノ倉）
3月	全体会議	雪上訓練（マチガ沢）

2021年度活動計画（案）



株式会社エーアールアイ  
東京都練馬区上石神井 3-18-1  
TEL 03-5991-4638

**2021** 年度は第4波のコロナ禍での活動を強いられています。そんな中、5月8日(土)に計画していた榛名・相馬山登山は7家族20名の応募がありましたが5月8日より群馬県の警戒度が「4」に引き上げられることとなったため中止にしました。

今後の予定としては、8月21日・22日に1泊2日、山小屋泊で平標山～仙ノ倉山登山を予定していましたが平標小屋の受入体制が不十分であるため、山域を変更し尾瀬ヶ原観察と至仏山登山で進めています。(8月21日・22日 1泊2日)

秋の岩登り体験はリピーターが多いため、新しい岩場を検討しています。候補として川場ゲレンデ(58年国体登攀会場)を考えています。なるべく早く下見を行い決定したいと思います。

2022年3月12日(土)は、恒例になりましたスノーシュー登山・ハイキング(鹿俣山・玉原湿原)は、予定通り進めています。今年度計画は、全て「国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金」の助成金が受けられるようになり、「国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金」側もこの様な中でも子供達に安全に運動・自然観察・地図読等の学習が出来る場所を提供して欲しいと言った要望がありました。

募集要項には、コロナ感染状況等によっては中止もありますと案内をしていますが、中止になると「ガッカリ・残念」と言った声もありました。今後も中止を余儀なくされることもあると思いますが活動は予定通り進めて行きます。

早く、ワクチン接種等が進み通常生活に戻り、安心して登山を楽しめる日が早く来てほしいと願っています。



(有) 山とスキーの店 石井

**DreamBOX**

伊勢崎市宮子町 3448-2

TEL 0270-21-8025 FAX 0270-21-8026

# 有 笠 山

高体連登山部 OB 岡安茂能

**沢** 渡温泉から、「乾きたる、落葉  
の中に栗の実を」で始まる若  
山牧水の詩碑のある暮坂峠に向かっ  
て行くと、正面に見えてくる重量感  
のある山である。登山口の広い駐車  
場（アウトドアパーク入口）に集合。  
いつもウォーキングとストレッチを  
欠かさずフィットネスジムにも通っ

ている人が膝・足首の  
屈伸を始めると、みんな  
が合わせて準備運動。  
これに手を抜いて後で  
体が言うこと聞かなくな  
ったら大変とみんな  
真剣。

有笠浄水場（沢渡簡  
易水道）の建物を挟ん  
で、登山口は西口と東口  
に分かれる。西口に中  
之条町の案内板があり、  
源頼朝が浅間で野狩り  
を行なった帰途、従者

梶原景季が詠んだという歌「梓弓日  
も暮坂につきぬれば有笠山をさして  
急がん」が紹介されている。「梶原景  
季って、宇治川の先陣争いで、佐々  
木信綱に声をかけられて遅れをとっ  
た人でしょ。「古典」のテキストに出  
てきた。『平家物語』だったかしら、  
『吾妻鏡』だったかしら。「私なんか  
父から聞かされたし、絵本でも読ん

だわ。ちょっと、あなた、笑い過ぎっ。  
そういう歳なの私は、本当なんだか  
ら。「景季って、超人気の武将だっ  
たよ。父親の景時が景季を救うた  
めに敵陣深く侵攻したっていう「梶  
原の二度駆け」の話も、景季が矢を  
入れる籠に梅の花の枝を挿して奮戦  
した、雅を解する坂東武者だったっ



有笠山

て話も、日本人の心情をくすぐるの  
ね。「梶原の腰掛石」っていうのが、  
上沢渡川上流の大岩って所にあって、  
景季がその石に腰かけて休んだ時に  
口ずさんだ和歌なんですって」。歴女  
は詳しい。

**私** たちは西口から登り、落葉が  
堆積してルートが判りにくい

東口へ下る周回コースをとることに  
した。林道歩きに言い訳を考えなが  
ら歩き始める。「私たち、駐車スペ  
スのあるぎりぎりの所まで入って、  
同じルートを往復しちゃうってこと  
が多いけど、山ってピーク踏めばい  
いってものじゃないから、登りと下  
りは別のルートをとるべきよね」。「そ

う、楽だからって、鍋割  
山を箕輪から往復すると  
か、水沢山を伊香保森林  
公園の方から往復する  
のってつまらない」。「谷  
川岳だってロープウェイ  
使って天神尾根を往復  
するのって勿体ない感  
じ」。「でもね、私たちは  
西黒尾根や巖剛新道か  
ら登って、天神尾根を降  
りるでしょ。岩やる人は  
そりゃあないって言うか  
も」。「そうよ。ここだっ

て西のサンダンスエリアとか、東の  
フェアリーロックとか、有笠山には  
100本以上のルートがあるんですっ  
て。小川山や二子山に通う人たちは  
周回コースなんかとらないでしょ」。  
「ねえ、『フリーソロ』って映画見た？  
エル・キャピタンやっちゃったアレク  
クス・オノルドの」。「見たわよ。放  
映料安いのか、BSで繰り返しやって

るから。「私も見た。恋人のサンニの気持ち、ぐっと来たわ。「何だ、みんな見てるんだ。壁がきれいだし、壁に向かってる姿、良かった。ドキドキしたわ。今日、ここの岩にとりついているクライマー居るのかしら」。

「西登山口」の標識地点から蛇野林道と別れて林の中の登山道へ。いきなりの急坂でも歓談は途切れない。「コロナの感染拡大収束する気配ないけど、オリンピック・パラリンピック大丈夫なのかなあ。「コロナ禍で学校も変わったみたいね。小中学校で、ネットで繋いでオンライン授業やるって言うんですもの。「私たちの感覚だと、学校行事や部活動など軒並み延期だ縮小だっていうから、可哀想って思うけど、子どもたちも先生たちもどんどん新しい経験をして、楽しんでいるみたい。「これまで先生の仕事って増えるばかりで、スクラップ&ビルドが全くできないのが日本の学校だなんて言われていたのが、コロナ禍で洗いざらい見直して大分整理されたとか。断捨離のチャンスなんですって。「コロナ怖いけど、大変、大変ってばかり言っていないで、新しい生き方探すべきっかけにする事よね」。

**小** さな尾根に東屋。靴ひもを改め、水を飲む適所。「ありがとう、この飴おいしい。「私ね、「優しい私」に酔ってしまうことがあって、ご免！」。提供者が謝っている。東屋から緩い坂道になった。「コロナの前、娘の授業参観の時ね。先生が「水は私たちにどんな風に役立っているでしょうって聞いたの。はい、はい、はいって手を挙げた子が多い中で、

先生は手を挙げなかったおとなしそうな女の子を指したのよね。そして、「レジ袋の口を開ける時、ちょっと水をつけると直ぐ開きます」って言うの。私感動したの。きっと買物のお使いの時のこと、思い出したのよね。そして、先生、「そんなことより、私たちの命を支えている、もっと大切なことがあるよ」って言うの。何がそんなことよりよ、この薄らトンカチ！って思ったわ。生徒の答えを大事にしないこういう先生が、勉強嫌いを量産するんだって思った」。

「西石門」の標識で見上げると右に巨岩を頂くゲート。自然のエネルギーは凄い。そこからしばらく登った所で、先導者が「しっ！みんな静かにして！」と振り向き、指文字でカ・モ・シ・カと書く。沈黙すると静まり返っている山だ。岩屋に休んでいたカモシカがこちらを窺ってからゆっくりと林の中に消えた。「迷惑な人たち！って感じだったけど、何か凄く落ち着いていて風格があったわ。「そうね、私たちって、彼らのすみかに分け入って迷惑千万なことしてるのね」。

尾根上の平坦な所に分岐点「西下り口・山頂へ・東下り口」の標識。更に進むと、覆いかぶさるような岸壁の前に「有笠山 八八八m 群馬百名山」と標高まで記した疑惑の標柱。百名山踏破！って急ぐ人向けの撮影スポットかも。ここから岩壁の急登が始まる。鎖や梯子が直線状に続く。女性たちはひるまない。「この出っ張り有効よ」。先行者が使ったスタンスを後続者がきれいに習う。「ここの鎖、左右に揺れるからこの岩角をつかむのがいいかも。「はいっ」。女性は、料理本や講習会

のレシピを大切にし、これこれのレシピ、ファックスで送って！とか、ナツメグやベイリーフ切らしちゃったの、お願いしていい？なんて、友人や隣家に電話をかけている。ざっくばらんな相談や助け合いができる。「男の人って、体面とか体裁とかにこだわるし、よく分からないけどプライドが捨てられないみたい」。そうかも知れない。

山頂は広葉樹の林の中にあった。「立山の雄山神社や相馬山の黒髪神社・お籠り堂みたいに山頂にお社があるの、恐れ敬っていた山岳信仰の歴史を偲ばせてなかなかだけど、小さな山には質素な標識がいいわね」。時間は早いけど、昼食することに異論はなかった。銀紙に包んだ握り飯が多い。コンロ持参で麺類を作る人も具沢山のポリ袋が用意されている。何のことはない。毎日やっていること、包むか包まないかの違いだけだ。「毎日、炊事・洗濯や買物があるでしょ、迷ったりためらったりしている暇ないの、パパや子どもたちが飢えちゃうじゃない？」。コンビニで食糧を調達するのは、圧倒的に男が多いのかも知れない。「うちの人、高いお肉だとか、手間暇かけたソースとかスープとか、全然分からなくてスルーなのよ。君が作るものはみんな美味いよだなんて。「フーン」。「ちょっと、あなた、何のろけてるのって聞いてたでしょ。違うの。張合いがないわねって同情する場面なんだから。「ねえ、充填豆腐ってあるでしょ、長持ちするし、ふわトロの食感がいいわね」。情報交換にも余念がない。

「行きましょうか」。話題が尽きるのを待ったら、帰れなくなるかもし

れない。梯子・鎖場を足場を確かめて慎重に降りる。先行者がお手本になる。東口・西口の分岐点に戻ると、登って来た時には気づかなかった、木肌がそれと分かるヤマザクラの木があった。「きれいでしょうね」。想像力を働かす所である。

**下** 降路は東口。間もなく先住民遺跡。昭和28年に洞窟内に土器が発見され、尾崎喜左雄教授によって発掘調査が行われた。炉のある3基の住居跡が確認され、磨製石斧や剥片石器、それに櫛目文のある弥生式土器、鹿や猪など沢山の獣骨が出土した。尾崎先生から直接講義を受けたことがあるという人が解説。この有笠山遺跡は、山地の洞窟に弥生文化が営まれていた特異な遺跡で、幾世代も重ねて使われたものか、猟期の前進基地であったのかも知れないという。遙か昔、炉を囲む家族が居て、平和な憩いがあったと、考えを巡らせる考古学にはロマンがある。

程遠くない所から声を掛け合う声が聞こえる。ロッククライミングが行なわれている。「やっているわね。女の子も居るわ」。聞くと、それぞれのルートに「白雪」「謎の女」「南の国」「しぶ茶」なんてお洒落な名前がついているのだという。突然出現したギャラリーに、クライマーたちが驚いている。落葉の堆積やクライマーたちの踏み跡で下降路は迷いやすいが、ピンクと黄色のテープを辿ると、左上に東石門があった。巨岩を配した自然の造形が美しい。落葉の下から顔を出しているギンリョウソウを見つけた人が居る。玉原の湿原でショウキランを見つけてくれた人だ。落

葉の下は湿地であることが分かる。「儂そうで竹久夢二が描いた女の人って感じ」。

間もなく有笠山林道に出た。お喋りの百花斉放である。「ねえ、女の子が求める結婚相手の条件って知ってる?」「高収入・高学歴・高身長の高三高でしょ」。「最近は、三Cですって」。「学校で習ったカイロ・ケープタウン・カルカッタの三C政策じゃないのね」。「違うの。comfortable, communicative, cooperativeの三つなの。エンゲル係数を上げないで子育てできる収入があって、価値観やライフスタイルが一致していて、しかも家事を進んでやってくれる男性がいいんですって」。「そんなこと言ってるから結婚できない子が増えているんじゃない? 条件じゃなくて、若い二人の努力目標にすべきよ、SDGsと一緒に」。「高度成長期の三種の神器も三Cって言ったわ。カーとクーラーとカラーテレビのこと」。「うち(の人)は、curiosity, clearness, credibilityが授業のポイントだと言ってる」。「熱心な先生なんだ」。「単に、心がけているだけみたい」。「でも、今three Csって言えば、closed spaces, crowded places, close-contact settingsの三密のことよね。しばらくはAvoid the Three Csを忘れないようにしなくちゃ」。「コロナに負けるなって、世界中の人が結束できるといいんだけど。宇宙から地球を見た毛利衛さんが、国境線は見えませんが、地球は一つですって言ったみたいに」。「それは大変だわ。まだ、オリ・パラ開催の方が余程現実的ね」。「うちの主人、ずっと山岳部の顧問してた癖に、何スミレだか、何ツツジだか、全然駄目なの。誰に聞けば

分かる、どの本見れば分かるってこと知ってりゃいいんだって威張ってるの」。「トリセツ使えばいいってことあるわね」。「高体連には色んな教科の先生がいるでしょ。生き物はT先生、M崎先生。石のことはK岩先生。難解漢字はM上先生。地形や集落はK田先生に聞けば完璧なんですって。それにね、K田先生に聞けば最新の世界情勢、K岩先生は宇宙の神秘、T先生なんか「険しい山は迫力マウンテン」みたいな、「ダーウィンが来た」のひげ爺真っ青の駄洒落が聞ける、M上先生からは日本の近代史や法話まで聞けるんですって」。「岳連の人も凄いの。八間山・堂岩山の大会でね、閉会式が済んで荷物を車に積んでる時、声を掛けられて、振り向いたらトランクが閉まっちゃって開けられなくなっちゃったのね。いい人達ばかりだからみんな心配してくれたんだけど、色んなプロが居て、針金やかねじゃく(曲尺)で試してくれてハンマーまで出て来たので、慌てて辞退してJAF呼んだら直ぐ開いてほっとしたって言ってたわ」。とうとうゴール地点に到達するまで会話が途切れることはなかった。

誰であれ、傍らに人無きが若しの言いたい放題を聞くのはご免蒙りたいけれど、普段おとなしく控えている女性のそれは新鮮で飽きない。思いがけないことに気付かされたり、すっかり忘れていたことが思い出されたり、遠く離れている人が身近に感じられたりすることがある。そして思い当たるのは、牧水の門下・百瀬慎太郎が詩った通り「山を想えば人恋し、人を想えば山恋し」である。

## スポーツクライミング情報

2021年3月から4月にかけてスポーツクライミングの競技会を開催しましたので報告いたします。感染症対策として、無観客、表彰式なし、グループ分けによる会場入出場管理の上、密を避けた運営をいたしました。

### 第1回リード小学生群馬カップ (第43回群馬県小学生総合体育大会)

2021年3月14日(日) ALSOK ぐんま総合スポーツセンター サブアリーナにて小学生総体としてスポーツクライミングも行うことになり、群馬では初めて小学生でのスポーツクライミング競技会を開催しました。今回の対象者は4年生から6年生で、14名がエントリーしました。うち10名は岳連で行っているスーパーキッズプロジェクトの参加者です。競技は2本のルートを持ち時間5分でオンサイト(事前に登らず初見でトライ)する方式で行いました。

総合優勝は、2本とも落ち着いた登りで完登した周東凜帆選手(5年生)。2位は、惜しくも2本目で完登直前でフォールした下田悠太選手(6年生)。3位は、2本とも完登直前でフォールだった黒木ももこ選手(5年生)。

成績上位者には賞状とメダルを個別に贈呈しました。初めての小学生でのクライミング競技会でしたが、参加者のレベルは高くこれからの選手たちの活躍が楽しみです。

#### 競技成績 (学年は開催時)

総合1位：周東 凜帆 (小5)

総合2位：下田 悠太 (小6)

総合3位：黒木ももこ (小5)

学年別順位 (6年生は1名のため省略)

小5：1位 周東凜帆      2位 黒木ももこ      3位 木村遥稀

小4：1位 鈴木優月      2位 金子旺世      3位 佐藤飛羽

### 第9回ボルダリング群馬カップ

2021年4月4日(日) クライミングジム・ウォールストリート (前橋市鳥羽町) にて

国体選手及びユースC選手、群馬県強化選手の選考を兼ねて前橋市のクライミングジム・ウォールストリートにてボルダリングの群馬カップを開催しました。

競技方式は4課題によるベルトコンベア方式(他人の登りを見ずに順番にトライする)です。クラス分けと参加者は、成年男子4名、成年女子2名、少年男子5名、少年女子4名、ユースC以下15名の5クラス30名です。それぞれ難易度の違う課題をトライします。

圧巻だったのは、全ての課題を完投し、成年男子で優勝した星優輝選手。4課題のうち3課題を初見1回で完投し、残る1課題も参加者の中で唯一の完投でした。彼は、1月に行われたジャパンカップでは惜しくも予選通過できませんでしたが日本のトップグループでの競技で十分に戦える実力をつけています。

#### 競技成績

[成年男子] 優勝：星 優輝      2位：長岡 紘平      3位：吉野 壱希

[成年女子] 優勝：伊藤嘉奈子      2位：武井 綾音

[少年男子] 優勝：巳野 樹庵      2位：中村 怜旺矢      3位：大竹 志弥

[少年女子] 優勝：柳澤 葵      2位：阿部 心音      3位：塚越 優衣

[ユースC以下 (学年は開催時)]

優勝：結城 志音 (小6)      2位：佐藤 飛羽 (小5)      3位：下田 悠太 (中1)

## 2021年度 リード群馬カップ

2021年4月18日(日) ALSOKぐんま総合スポーツセンター サブアリーナにて

ボルダリング群馬カップ同様に国体選手及びユースC選手、群馬県強化選手の選考を兼ねています。今回は、リード壁の内容を一新しTOKYO オリンピックのルートセットを予定している岡野寛氏らにより競技課題を設定しました。競技方式は2本の課題のオンサイトリードで、クラス分けと参加者は、成年男子4名、成年女子2名、少年男子3名、少年女子4名、ユースC以下15名の5クラス28名です。

注目のボルダリング群馬カップ優勝の星優輝選手は、2課題完登、また、長岡紘平選手も2課題完登で成年男子は同着で2名優勝。また、小学生を含むユースC以下では2課題完登が3名も出るなど若い世代での実力が向上していることが伺えました。

### 競技成績

[成年男子] 優勝(同着2名): 星優輝・長岡紘平 3位: 吉野壱希

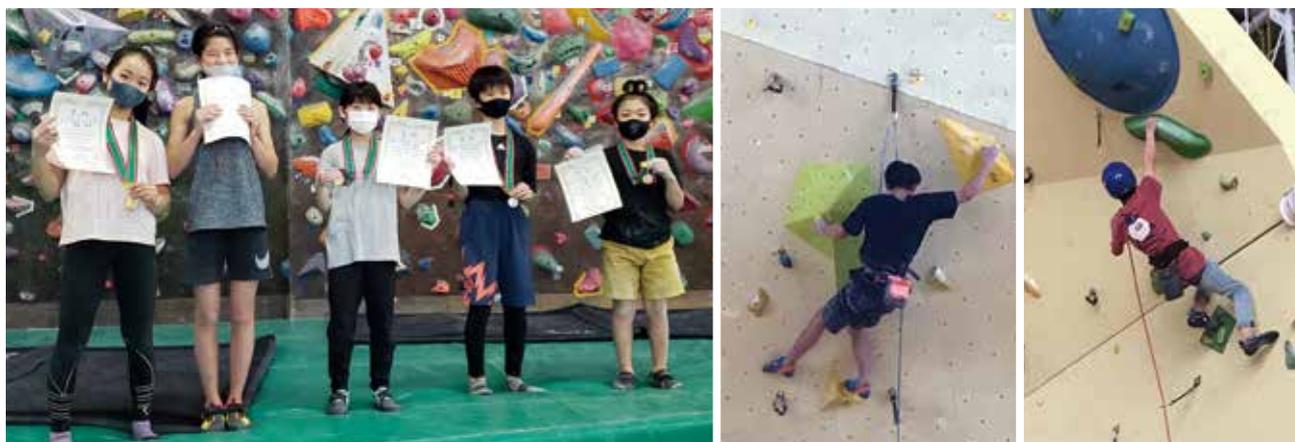
[成年女子] 優勝(同着2名): 伊藤嘉奈子・武井綾音

[少年男子] 優勝: 中村怜旺矢 2位: 大竹志弥 3位: 巳野樹庵

[少年女子] 優勝: 柳澤 葵 2位: 塚越優衣 3位: 阿部心音

[ユースC以下(学年は開催時)]

優勝(同着3名): 結城志音(小6) 黒木ももこ(小6) 下田悠太(中1)



スーパーキッズ練習会にて 左から総合優勝の周東選手と総合3位の黒木 ユースC以下の結城選手 成年男子星選手  
選手、小4の1位鈴木選手 2位金子選手 3位佐藤選手

3つの競技会を終えて、小学生からはスーパーキッズプロジェクトからの参加者が増えており実力も向上していることが伺え、群馬での選手層が厚くなってきていることを実感しました。成年男子の星選手をはじめとする強化選手たちや、キッズたちを、群馬から全国、世界へ向けて羽ばたかせたいと思います。ぜひ山岳連盟の皆様からの群馬のスポーツクライミングへの応援をよろしくお願いいたします。

### スポーツクライミング関係の今後の予定

- 6月 スーパーキッズプロジェクト スポーツクライミング3期生 認定式
- 6月 第76回国民体育大会関東ブロック大会 栃木(スポーツクライミング/19~20日 壬生)
- 9月 リードユース群馬カップ
- 10月 第76回国民体育大会三重大会(スポーツクライミング/1~3日 菰野町)

# 群馬の山 2

## 県境稜線トレイル東の玄関口

難易度 C / 体力度 5

土合駅→白毛門→笠ヶ岳→朝日岳 (往復)

標準的なコースタイム 10 時間 55 分

2 万 5 千分の 1 地形図「茂倉岳」

湯檜曾川を間に挟み、谷川岳の東側に屹立する山塊である。白毛門山頂から笠ヶ岳、朝日岳にかけて望む谷川岳の朝



白毛門山頂からの谷川岳

の陽光を浴びたその美しい姿には、息をのまずにはいられない。左から天神尾根、西黒尾根、マチガ沢、トマの耳、オキの耳、一ノ倉沢、

衝立岩、一ノ倉岳、茂倉岳、武能岳、蓬峠へと続く山並みは、日本を代表する山岳風景の一つといえるだろう。所要時間 10 時間以上の健脚向きコースである。できる限り早出に努めたい。日が短くなると日没後の下山となることもあり得るので、ヘッドライトなどは必携である。『群馬の山歩きベストガイド』から)

### 「群馬の山歩きベストガイド

安心して歩ける 126 コース」

群馬の山歩き  
ベストガイド



定価 1400 円 + 税  
ISBN978-4-86352-249-7

群馬県山岳連盟と日本山岳会群馬支部、群馬県勤労者山岳連盟による群馬県山岳団体連絡協議会の編集で、上毛新聞社から発売中。お求めは岳連総務委員会へ。県内外の書店でも好評販売中。

## ねろ コラム 嶺呂の新設について

『山岳ぐんま』は前号(118号)よりWEB版となりました。各山岳会に登録人数+5部を配布していましたが、山岳会員に行き渡ることが難しいと判断し、WEBでの公開を判断しました。皆様に読んでもらえる事を願っています。

群馬県山岳連盟は昭和16年8月30日に創立しました。山岳連盟会報として『嶺呂』の創刊号が発刊されたのは昭和49年10月1日でした。「嶺呂とは、万葉集の中に出てくる言葉で、嶺は、山々・峰々の意味で、呂は親愛・感動の念をこめて使う接尾語です。万葉集、上毛野国の歌の中に久呂保の嶺呂(赤城山)とか伊香保の嶺呂(榛名山)などという風に使用されており、群馬岳連の会報の名にふさわしいものと思います」とあり、命名

理事長 佐藤光由

者は浜名会長です。久呂保の嶺呂は赤城山のことで、黒々とした山頂付近の針葉樹が遠望されるところから、また「伊香保の嶺呂は、いかつい大きな山々の意で、ホは高くそびえている様子を表し、いずれも麓の人々が親愛を込めて呼んでいたようです」とも当時の会報に記してあります。

会報『嶺呂』は60号の時に当時会長であった星野光氏の意見により『山岳ぐんま』と名前を変えました。このたびWEB版への移行に伴い、嶺呂をコラムコーナーで復活したいと思います。紀行、雑感、回顧録など、どのような投稿でも構いません。ぜひとも原稿をお寄せください。

後編  
記集

岳

連総会もコロナ禍で2年続きの書面開催となり、なかなか顔を合わせる機会も乏しくなっています。このIT時代、メールやZoomでも必要な連絡や会議はできるわけですが、山屋の習性として酒を酌み交わし、口角を飛ばすようなコミュニケーションは欠かせないものでした。一日も早く、マスク着用で泡は飛ばさないまでも、そんなついでの間までの当りが復活することを祈る日々が続きます。(広報委員長・根井)

弱電工事承ります。

電話工事、ネットワーク工事及びセットアップ(LAN及びWi-Fi環境)、

TVアンテナ及びケーブル工事

パソコンで悩んでいませんか?

ソフトの使い方はわかりませんが、ハードの悩みは相談してください。

(難しい故障の場合は外注となります。)

## ミヤマネットワーク

代表 佐藤光由

群馬県前橋市高花台1-6-5

電話 027-269-1143 携帯 090-8842-2158